

4

「食の6次産業化プロデューサー」をめざすと どんなメリットがあるの？

「キャリア段位」を活用すれば…

一人ひとりごとにきめ細やかな「わかる」と「できる」のレベル認定を受けられます。(P7)

「食の6次産業化」に取り組む一人ひとりが…

- 自分の「わかる(知識)」と「できる(実践的スキル)」がどの程度の水準にあるかを客観的にチェックできます。
- また、さらなるステップ・アップを図るためには何を理解してどのようなビジネスに取り組めばよいのかを確認できます。
- 新たにチャレンジする方にとっては、将来のキャリア・パスや成功モデルが明確になります。



「食の6次産業化プロデューサー」に認定されると…

- 国が認定する「食の6次産業化プロデューサー」として自己の能力・スキルをPRすることができます。
- 消費者や他の事業者からの信頼性が高まることにより、「食の6次産業化」を行う上で不可欠なビジネスパートナーを見つけやすくなるなど、ビジネスモデルの発展・拡大が期待されます。
- 法人での処遇の改善や採用チャンスの拡大が期待されます。



ここがポイント!



- きめ細やかな「わかる」と「できる」のレベル判定を受けられる
- 今の自分が客観視でき、将来のキャリア・パスが明確になる
- 能力・スキルのPR、ビジネスパートナーの広がり、採用チャンスの拡大

5

「食の6次産業化プロ

STEP

1

「わかる(知識)」の習得

「食の6次産業化」で成功するために
知っておくべきことは？

- ① 消費者の視点に立った商品づくりの手法(商品開発など)
- ② 売するための仕組みづくり(マーケティング戦略など)
- ③ 経営や事業のマネジメント(会計やビジネス計画書の作成など)
- ④ 食品安全・衛生管理に関する決まり(規制など)

これらのノウハウを体系的に理解し、実際のビジネスの現場に生かしていくことが重要です。



STEP

2

「できる(実践的スキル)」の習得

「食の6次産業化」に成功している方の
特徴は？

- ① 一定の売上・収益を上げている
- ② 新たな商品やサービスの開発を行っている
- ③ 新たな販路の開拓やプロモーションを行っている
- ④ 他の事業者や機関との連携・コーディネート体制を築いている

「食の6次産業化」のビジネスを発展させたい方や新たにチャレンジする方にとって、これらの点に気をつけて実践に取り組むことが成功への近道と言えます。



STEP

3

「わかる」「できる」の評価

「わかる」「できる」はどのように評価するの？

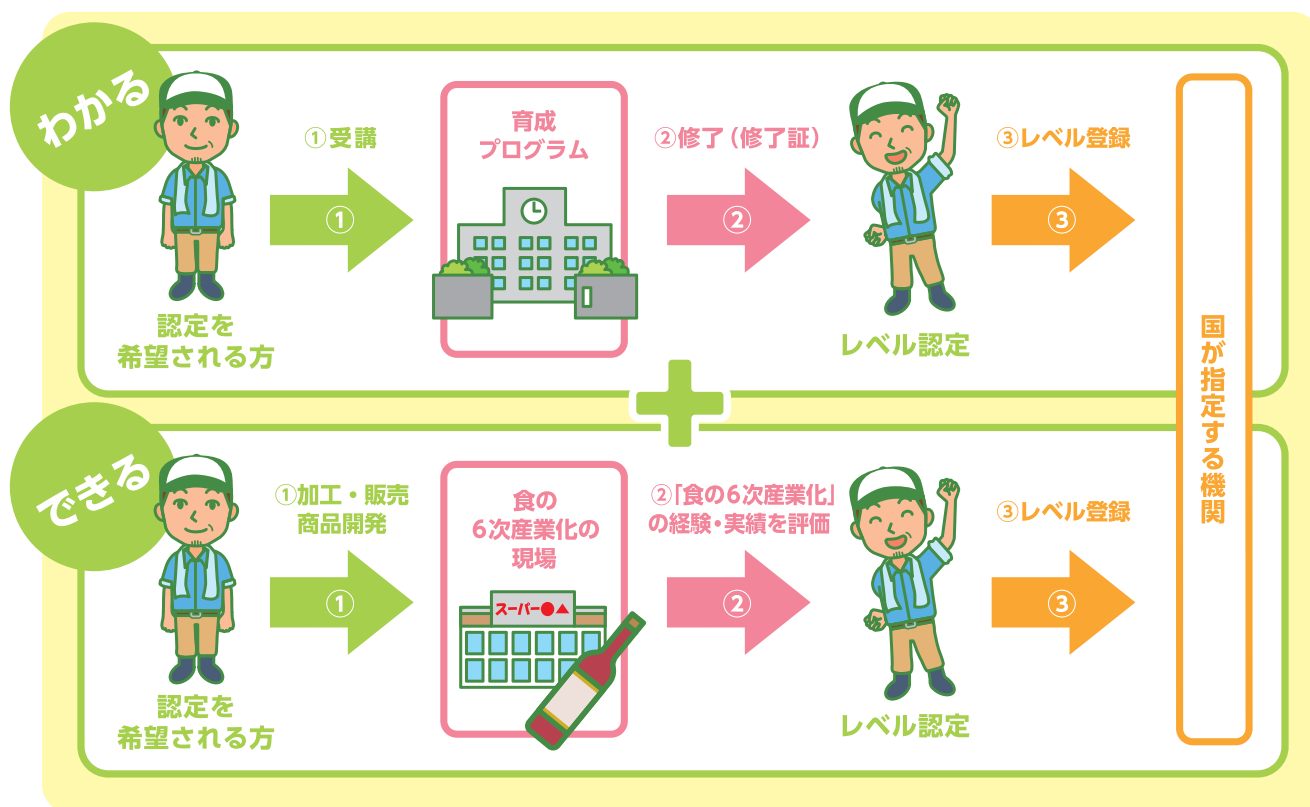
- 「わかる」：育成プログラムの修了
- 「できる」：「食の6次産業化」の経験や事業の実績(売上・商品内容・販売エリアなど)を国が指定する機関が評価

まずは先行的にレベル4までの評価を行います。



「食の6次産業化プロデューサー」の レベル認定！

「デューサー」になるためには？



- 「わかる」の認定には、教育機関(大学・高校・専門学校など)や民間の研修機関において、国が定める「プログラム認証基準」に基づく育成プログラムを修了していただくことが必要です。
(すでに高い実績を上げてプロレベル(P7)と認定される方は、改めてプログラムを受ける必要はありません。)
- 「できる」の認定には、事業の実績を表す書類等を提出していただくことが必要です。
- レベルの認定機関は、平成24年度内に国が公募・選定する予定です。

■「できる」の申請書のイメージ

申請者名	〇〇××
所属・役職	(有)〇〇農園 代表
取組内容	生産、加工、直売、レストラン
商品内容・アピールポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・プレミアムぶどうジュース ・原料は有機無農薬のぶどうのみ ・高級感のあるボトルを使用 ・地産地消バイキング ・高齢者への弁当宅配
販売先	県内(直売所、ホテル、宅配) 首都圏(デパート)
売上	5,000万円(昨年比10%増)
PR	原料は近隣の農家からも買入れ。 地域農業の活性化に貢献。

ここがポイント!



- 国が指定する機関で「わかる」と「できる」のレベル認定を受ける
- 「わかる」の認定には、育成プログラムを修了していただくことが必要
- 「できる」の認定には、事業実績を表す書類を提出。経験や実績を評価

6

「食の6次産業化プロデューサー」のキャリア・パスは？

「食の6次産業化プロデューサー」のレベル

エントリーレベルのレベル1から、プロレベルのレベル4、トップ・プロレベルのレベル7まで、7段階のレベルがあります。



レベルごとの人材イメージ

レベル	特徴	食の6次産業化プロデューサーの人材イメージ			
レベル7	トップ・プロフェッショナル	<ul style="list-style-type: none"> 組織内外で後進を育成 他の農家に対して「食の6次産業化」の手法・戦略を指導 			
レベル6	<ul style="list-style-type: none"> プロレベルのスキル 高度な専門性・オリジナリティ 	<ul style="list-style-type: none"> 商品のブランド化 他の法人のビジネスパートナーとして活躍 			
レベル5		<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトを多角化し、複数の商品や分野(観光・輸出等)に進出し、継続的な実績 一定数以上のスタッフに対して指示・指導 			
レベル4	<ul style="list-style-type: none"> 一人前の仕事ができる段階 チーム内でリーダーシップ 	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトを管理し、売上増加などの事業実績 異業種間や関係者間のコーディネート 			
レベル3	指示等がなくとも、一人前の仕事ができる段階	「できる」		「わかる」	
		①事業主 生産体制、流通経路を確立	②法人スタッフ プロジェクトの一部で実績	③支援スタッフ 事業化を支援	<ul style="list-style-type: none"> ビジネス計画書の作成 商品開発、マーケティング戦略
レベル2	一定の指示のもと、ある程度の仕事ができる段階	「できる」		「わかる」	
		①事業主 支援・協力を受けながら「食の6次産業化」を実践	②法人スタッフ プロジェクトに従事	③支援スタッフ 支援業務を実践	<ul style="list-style-type: none"> 関連法規 収支計算 経営計画
レベル1	職業準備教育を受けた段階	「できる」		「わかる」	
		実習等による経験		<ul style="list-style-type: none"> 6次産業化の基礎 食品安全、衛生管理 	

※レベル2・3の段階では、立場ごとに、①事業主(農林漁業者、食品産業・外食産業・流通業・小売業・商工業の経営者)、②法人スタッフ(①の法人に勤務する職員)、③支援スタッフ(行政機関、農協・漁協の職員、コンサルタント等)のコースを選択していただきます。

ここがポイント!



- エントリーレベルからトップ・プロまで7段階のレベル認定
- レベル2・3の段階では立場ごとに「事業主」、「法人スタッフ」、「支援スタッフ」のコースを選択する